

衆議院内閣委員会ニュース

平成 30. 11. 14 第 197 回国会第 3 号

11 月 14 日（水）、第 3 回の委員会が開かれました。

1 理事の補欠選任

- ・理事の補欠選任を行いました。
理事 佐藤茂樹君（公明）（理事岡本三成君去る 12 日委員辞任につきその補欠）

2 内閣の重要政策に関する件、公務員の制度及び給与並びに行政機構に関する件、栄典及び公式制度に関する件、男女共同参画社会の形成の促進に関する件、国民生活の安定及び向上に関する件及び警察に関する件

- ・菅国務大臣、宮腰国務大臣、平井国務大臣、茂木国務大臣、片山国務大臣、櫻田国務大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

今井雅人君（立憲）

- ・片山国務大臣の事務所が政治資金収支報告書の訂正を行ったことについて、まず国会で説明して、それから一般に公表する必要があったと考えるが、同大臣の見解を伺いたい。
- ・片山国務大臣が販売を想定して作成したカレンダーについて、無償で配付した事実の有無を確認したい。
- ・櫻田国務大臣のサイバーセキュリティに関する知見の有無及びサイバーセキュリティに関する事務を担当していることの妥当性について、同大臣に伺いたい。

川内博史君（立憲）

- ・平成 30 年 7 月 31 日の衆議院議長の談話を読み、閣僚としてどのように感じたか片山国務大臣に伺いたい。
- ・7 年前の対価を受け取った会合に出席した人数、その際に配付したカレンダーの印刷部数及び余部数等を丹念に調査すべきと思うが、片山国務大臣の認識を伺いたい。
- ・加計学園・岡山理科大学獣医学部の設置認可申請を大学設置・学校法人審議会学校法人分科会で審査をする際に、施設費及び設備費に関し、工事単価の精査をしたのか、文部科学省に伺いたい。

後藤祐一君（国民）

- ・昨日片山国務大臣の事務所が訂正を行った政治資金収支報告書は総務省のホームページにおいて閲覧可能な状況にあるのか、片山国務大臣に伺いたい。
- ・さいたま市において掲示されている片山国務大臣の書籍を宣伝する看板の形状はさいたま市屋外広告物条例に違

反しているのではないかと、片山国務大臣の見解を伺いたい。

- ・サイバーセキュリティ戦略本部における櫻田国務大臣の役職及びサイバーセキュリティ基本法の一部を改正する法律案の内容について、櫻田国務大臣に伺いたい。

齊木武志君（国民）

- ・秘書が埼玉県の支持者名簿を紛失した際に、同秘書に対して暴言を吐いたことはあるか、片山国務大臣に伺いたい。
- ・東京オリンピックにおいて、ロンドンオリンピック時のようなサイバー攻撃に対処するためにどのような対策を講じるか、櫻田国務大臣に伺いたい。
- ・過去に韓国の従軍慰安婦問題に関し行った発言について事実かどうか、櫻田国務大臣に伺いたい。

浦野靖人君（維新）

- ・日本発祥のテレビゲームが多くあり、世界大会等が行われている中、e スポーツをクールジャパン戦略の中に位置付けて世界に発信していくべきだと考えるが、平井国務大臣の見解を伺いたい。
- ・企業主導型保育施設に対する指導監査は現在どのように行っているのか伺いたい。
- ・政府は働き方改革の一環としてシェアリングエコノミーを進めているが、シェアリングエコノミーで稼ぐ人に対してどのように課税を行っていくのか伺いたい。

塩川鉄也君（共産）

- ・茂木国務大臣が、リラクゼーション業という産業分類の確立に尽力したことに対し、日本リラクゼーション業協会がパーティー券購入で報いたとの見解に対する茂木国務大臣の所見を伺いたい。
- ・日本原子力発電株式会社東海第二原子力発電所の再稼働反対・運転期間延長反対という市民の声をどのように受け止めるか、菅内閣官房長官に伺いたい。
- ・経済産業省と電力会社との官民癒着の疑念を解消する必要性について、菅内閣官房長官の考えを伺いたい。

日吉雄太君（自由）

- ・過去2度の沖縄県知事選挙結果を踏まえ、米軍普天間基地の辺野古への移設反対が、沖縄県民の民意であると菅内閣官房長官は認識しているか伺いたい。
- ・国の機関である沖縄防衛局が一般私人と同様に行政不服審査法に基づく審査請求を行うことの妥当性について、菅内閣官房長官の見解を伺いたい。
- ・行政における公文書管理の最終的な責任者は誰なのか、片山国務大臣に伺いたい。

3 公務員の制度及び給与並びに行政機構に関する件（人事院勧告）

- ・宮腰国務大臣、高階厚生労働副大臣、一宮人事院総裁及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

近藤昭一君（立憲）

- ・常勤職員と非常勤職員の処遇差について点検し、合理的な説明ができないものは是正すべきと考えるが、人事院の見解を伺いたい。
- ・非常勤職員の処遇改善に向けた、宮腰国務大臣の決意を伺いたい。
- ・公務における障害者雇用の促進に向け、障害者のための労働組合等と協議を行うべきであり、また、難病患者の職場環境についても合理的な配慮を行うべきだと考えるが、宮腰国務大臣の見解を伺いたい。

- ・国家公務員の超過勤務について、明確な上限を設けて規制する必要があると考えるが、人事院の見解を伺いたい。
- ・改正予定の人事院規則における超過勤務時間上限に係る基準について、今後明確にすべきと考えるが、人事院の見解を伺いたい。

山岡達丸君（国民）

- ・いかなる措置と仕組みにより国家公務員の労使関係の公平性及び公正性が担保されていると考えているのか、一宮人事院総裁に伺いたい。
- ・昭和57年に人事院勧告が実施されなかった際の判例等を踏まえると、人事院が、人事院勧告を実施させることに責任を持つ仕組みにしなければ国家公務員の公正な労使関係が保てないのではないかと考えるが、一宮人事院総裁の見解を伺いたい。
- ・人事院の存在及び昭和57年の人事院勧告の不実施事例等についてどのように考えているのか、政府に伺いたい。

篠原豪君（立憲）

- ・中央省庁による障害者雇用の水増し問題に関し、国の行政機関で適切に障害者が雇用されているかの実態把握の責任がどこにあったのか、高階厚生労働副大臣に伺いたい。
- ・来年2月に人事院が予定している国家公務員障害者選考試験の受験資格の要件において、1959年4月2日以降に生まれた者としているのは、法定雇用率の早期達成のための数合わせではないかと疑念を持たざるを得ないが、人事院の見解を伺いたい。
- ・公文書等の改ざん事案等を踏まえ、野党が第196回国会に提出した「会計検査院法及び予算執行職員等の責任に関する法律の一部を改正する法律案」及び英米議会における議会侮辱罪の慣行について、宮腰国務大臣の所見を伺いたい。

塩川鉄也君（共産）

- ・人事院は国家公務員の定年を段階的に65歳に引き上げる意見の申出をしたが、その中で60歳を超える職員の年間給与は60歳前の7割の水準が適当とした根拠について、一宮人事院総裁に伺いたい。
- ・厚生労働省の賃金構造基本統計調査は再雇用を含む数値となっており、それを定年延長者の給与水準と比較するのはふさわしくないと考えるが、一宮人事院総裁の見解を伺いたい。
- ・政府は、公務員の定年の引上げに関する検討会の論点整理を前提に給与引下げを進めるべきではなく、また、総人件費抑制方針そのものを中止すべきではないかと考えるが、宮腰国務大臣の見解を伺いたい。

森田俊和君（国民）

- ・現在の国家公務員の超過勤務の実態及び超過勤務削減に向けた取組について人事院に伺いたい。

- 4 一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律案（内閣提出第3号）
特別職の職員の給与に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第4号）
- ・宮腰国務大臣から提案理由の説明を聴取しました。